

都立明治公園の整備計画 答申

都立明治公園の整備計画

- | | | |
|---|--------|--|
| 1 | 所在地 | 東京都新宿区霞ヶ丘町 |
| 2 | 計画対象面積 | 約1.6ha |
| 3 | 都市計画 | 東京都市計画公園第5・7・18号 明治公園
当初告示 昭和32年12月21日 建設省告示第1689号 約67.80ha
最終告示 平成29年11月30日 東京都告示第1747号 約58.5ha |
| 4 | 開園 | 開園年月日 昭和39年10月 1日
開園面積 2.84ha (平成30年4月現在) |

5 整備計画

(1) 計画地の概要

計画地は都市計画明治公園の西端にあり、新国立競技場の南に位置する。周辺には北に新宿御苑、東の赤坂御用地、また、西に明治神宮内苑・都立代々木公園等の大規模緑地がある。

都立明治公園は昭和39年に開園したが、新宿区霞ヶ丘町地区は新国立競技場の建設及び区画整理事業等により、再編されることとなった。本計画は、そのうちの都営住宅跡地を中心とした 約1.6haを対象とする。

(2) 計画テーマの設定

人々と深いかわりを持ち、明媚な自然を呈する渋谷川が流れていた土地の歴史をふまえつつ、皇居から神宮内苑、代々木公園に至る緑地帯を形成し、時代を超えて継承される杜の中で、まちに暮らす人や働く人、訪れる人等の交流を促進し、新たな価値を生み出す場を目指し、計画テーマを「100年後も続く 未来を創造する緑にふれあえる公園」とする。

(3) 計画コンセプトの設定

計画テーマを具現化するための計画コンセプトを以下の2つとする。

① みどりと水景観の創出

新国立競技場、周辺緑地と繋がる多様性に富んだ緑の拠点として持続的成長が可能な100年の杜と、かつての渋谷川の流れを意識した水景観を形成する。

② 地域のにぎわい創出

交通利便性や周辺の多様な施設を活かした都市の中の魅力的な公園を形成し、多世代交流の場やコミュニティ活動の中心となるような広場空間を創出する。

(4) ゾーニング

整備計画のコンセプト及び計画地の立地特性等を踏まえ、「豊かなみどりのゾーン」と「にぎわいと交流のゾーン」を配置する。

自然に親しみ、憩い、集える多様な交流空間として、安全安心に十分に配慮しながら、明治神宮外苑及び周辺のまちづくりと整合を図りつつ、2つのゾーンが相乗的に賑わいを生み出すとともに地域の回遊性を高めるよう整備する。また、訓練活動や来園者の防災意識の向上の場としても活用できる、広場等の施設整備を行うなど避難場所に指定された防災公園としての機能の充実を図る。

① 豊かなみどりのゾーン

隣接する新国立競技場や日本スポーツ協会・日本オリンピック委員会新会館等のみどりと一体となった空間とするともに、神宮外苑から新宿御苑の一帯の緑地を構成し、未来に継承される杜として、地域に適した植物からなる樹林を創出するゾーン。

-1 都心部にある貴重な緑空間として、多様な生物の生息・生育空間に配慮するとともに、ヒートアイランドなどの熱環境の改善に貢献する。

-2 散策や休憩などを楽しんだり、杜づくりに携わることを通じて、緑や歴史を身近に感じられる憩いの場とする。また、起伏を活かし、新国立競技場や神宮外苑等のまとまった周辺施設の緑と連続した景観を形成していく。

-3 公園と隣接する公開空地等との調和や緑の連続性、利用の一体性を確保するとともに、周辺施設と連携して運営していく。

② にぎわいと交流のゾーン

新国立競技場や神宮外苑とまちを結ぶエリアとして、交流施設やイベント等を通じて人々が交流することで利用の回遊性を高め、賑わいを創出し、まちに活力を生み出すとともに、渋谷川が流れていた歴史を感じることができるゾーン。

-1 地域に暮らす人々と周辺施設への来訪者との新たな交流やつながりが生まれる場となるよう、イベントスペース等として活用可能な広場機能を持たせる。

-2 かつての渋谷川の記憶を伝え、広場と一体となった誰もが親しめる水景観を形成する。

-3 多くの人が集い楽しめるよう、民間ならではの新しい発想を積極的に取り入れ、時代に即した多様なニーズに対応したにぎわい施設を整備する。

都立明治公園 ゾーニング図

にぎわいと交流のゾーン

新国立競技場や神宮外苑とまちを結ぶエリアとして、交流施設やイベント等を通じて人々が交流することで利用の回遊性を高め、賑わいを創出し、まちに活力を生み出すとともに、渋谷川が流れていた歴史を感じることができるゾーン

- 地域に暮らす人々と周辺施設への来訪者との新たな交流やつながりが生まれる場となるよう、イベントスペース等として活用可能な広場機能を持たせる。
- かつての渋谷川の記憶を伝え、広場と一体となった誰もが親しめる水景観を形成する。
- 多くの人が集い楽しめるよう、民間ならではの新しい発想を積極的に取り入れ、時代に即した多様なニーズに対応したにぎわい施設を整備する。

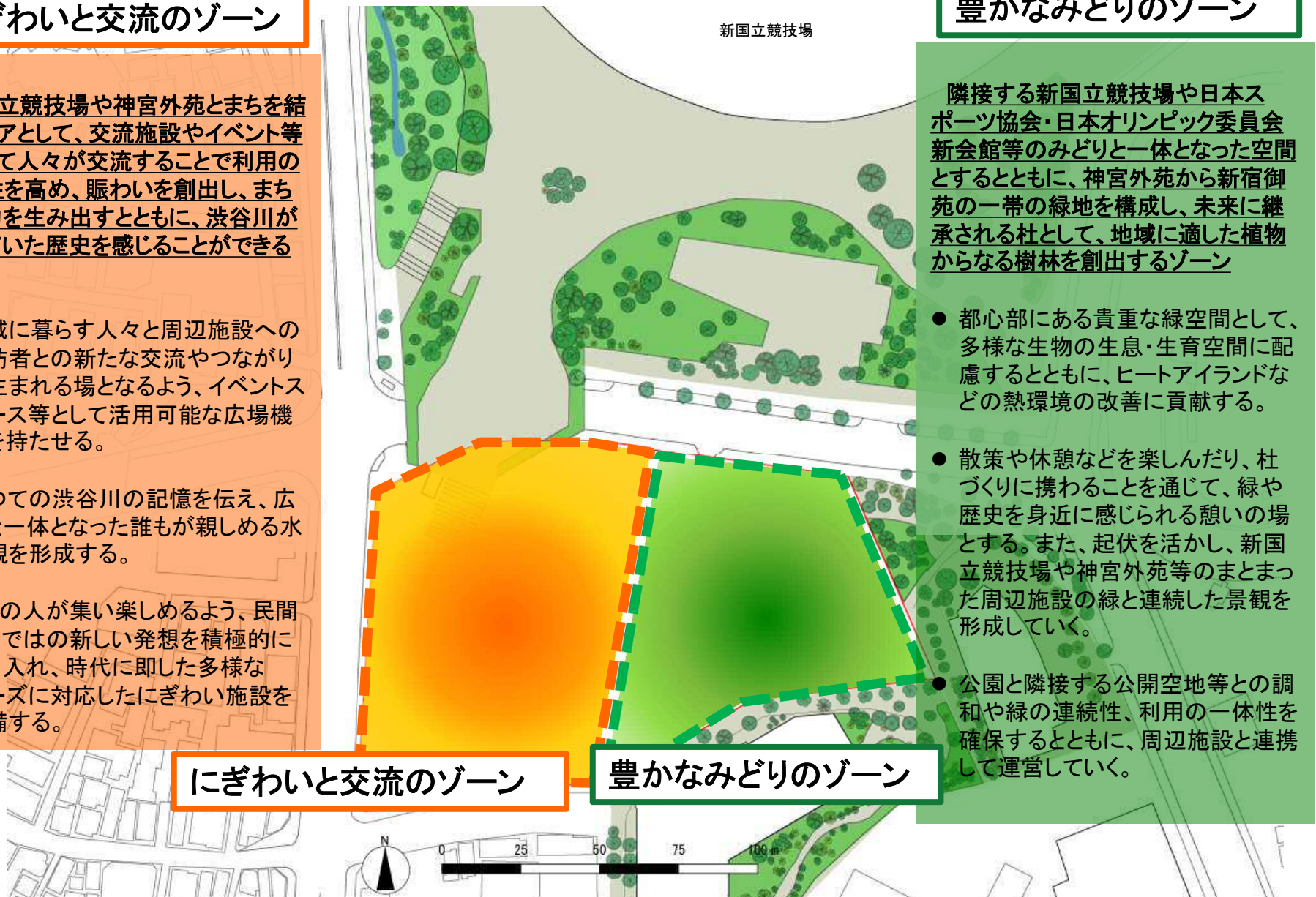
にぎわいと交流のゾーン

豊かなみどりのゾーン

隣接する新国立競技場や日本スポーツ協会・日本オリンピック委員会新会館等のみどりと一体となった空間とするとともに、神宮外苑から新宿御苑の一带の緑地を構成し、未来に継承される杜として、地域に適した植物からなる樹林を創出するゾーン

- 都心部にある貴重な緑空間として、多様な生物の生息・生育空間に配慮するとともに、ヒートアイランドなどの熱環境の改善に貢献する。
- 散策や休憩などを楽しんだり、杜づくりに携わることを通じて、緑や歴史を身近に感じられる憩いの場とする。また、起伏を活かし、新国立競技場や神宮外苑等のまとまった周辺施設の緑と連続した景観を形成していく。
- 公園と隣接する公開空地等との調和や緑の連続性、利用の一体性を確保するとともに、周辺施設と連携して運営していく。

豊かなみどりのゾーン



※周辺施設は、完成イメージであり、実際のものとは異なる場合があります。

都立明治公園 イメージスケッチ（参考）～豊かなみどりのゾーン～



都立明治公園 イメージスケッチ（参考）～にぎわいと交流のゾーン～



※新国立競技場については完成予想イメージであり、実際のものとは異なる場合があります。
新国立競技場に係る部分については、大成建設・梓設計・隈研吾建築都市設計事務所共同企業体が作成した完成予想イメージパースについて、独立行政法人日本スポーツ振興センターから提供を受け、それを元に東京都建設局が作成したものです。

都立明治公園 位置図

参考資料 1



